

興る！太子高校！！

学びを「力」にするために その4

本年度は、「興る！太子高校！！」をキーワードに、内なる力に気づき主体的に伸ばそうとする生徒の育成を目指します。校長通信では、そうした太子高校の「今」をお伝えできればと考えています。

「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」。この三つが今回の学習指導要領改訂のキーワードです。これからの日本の教育は、このキーワードによって「新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実」を目指していこうと、文部科学省は言っています。

では、「新しい時代に必要となる資質・能力」とは何でしょうか。

- 1 学びを人生や社会に生かそうとする、**学びに向かう力・人間性等。**
- 2 生きて働く**知識・技能。**
- 3 未知の状況にも対応できる**思考力・判断力。表現力等。**

この3つです。つまり、これからの世界ではこれら3つがバランスよく身につけていることが必要なのだ、文部科学省は言っているということです。アクティブ・ラーニング型の授業で目指すものは、これら3つを確実に身につけることです。AIにはできないことですね。

太子高校が今まで実践を重ねてきたものが、ここに集約されています。知識の量を競うのではなく、どう使うかをお互いが話し合う中で見いだす力。自分や友人の変化や成長を、人との関わりの中で客観的にとらえられる力。分かろうとする努力を素直に認め合い、切磋琢磨できる力。こうした力を生徒自身が養うことができるような教育環境でありたいと願い、先生方と取り組んできました。新しい学習指導要領のエッセンスを知るほどに、本校の取り組みは間違っていない、これからの世界で活躍できる人材を育成していると確信できました。

今後も、生徒・教師が一緒になって、さらに質の高い教育実践を重ねて参ります。学校がますます楽しくなることうけあいです！！

ONE SHOT



平成 30 年 1 月 30 日に、台中市立豊原高級中学と姉妹校締結をしました。そのときに植樹した山法師の木に、花が咲きました。写真では小さくてわかりにくいかもしれませんが、木の上の方に白く見えているのがそうです。豊原高級中学の校長先生は、太子高校での記念植樹に大変感激してくださいました。本校生が 12 月に豊原高中を訪問した時には、自分の学校でも行いたいと言ってくださったほどです。

友情の木がすくすく育っています。この花を豊原高中の生徒さん達にみていただける日が、来週に迫ってきました。

学校のカ・イ・ダ・ン

本校の食堂で昼食を摂られた保護者の方からのお話です。「太子高校生は本当によく挨拶をしてくれますね。食事をしている私たちのところにわざわざ来てくれて、こんにちは！と言ってくれました。廊下ですれ違っても、みんな挨拶をしてくれます。本当に気持ちがいいです」と。それを伺って、私は嬉しい気持ちで一杯になりました。

気持ちのいい挨拶は人を幸せな気分にしませぬ！